

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	胃癌患者における術前 GLIM 基準による低栄養診断と術後補助化学療法 完遂率の検討 (B25-043)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部上部消化管外科学 主任教授 北里大学病院栄養部 部長 比企 直樹
他の研究機関および 各施設の研究責任者	他の機関との共同研究ではありません。
本研究の概要・背景・ 目的	胃癌の標準的な術後補助化学療法として、ステージ Ⅱ では S-1 とドセタキセルの併用療法 (DS 療法)、ステージ Ⅲ では S-1 単独療法が推奨されています。しかしながら、DS 療法では強い副作用により治療が中断される例も少なくありません。 近年、術前の栄養状態、特に骨格筋量や筋肉内脂肪の状態が化学療法の継続性に影響を与える可能性が報告されています。また、国際的な低栄養診断基準である GLIM (Global Leadership Initiative on Malnutrition) 基準を用いた栄養評価が、治療予後の予測因子となる可能性も示されています。 本研究では、術前に GLIM 基準を用いて栄養状態を評価し、術後補助化学療法 (S-1 単独療法または DS 療法) の完遂率や中断リスクとの関連性を後方視的に明らかにすることを目的としています。
調査データ 該当期間	2020 年 9 月 1 日から 2025 年 8 月 31 日の間
対象となる患者さん	2021 年 4 月 1 日から 2024 年 6 月 30 日の期間に、当院上部消化管外科で胃癌に対する根治的切除術を受け、術後補助化学療法を施行された患者さん
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2020 年 9 月 1 日から 2025 年 8 月 31 日の間電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料/情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究は既存の診療記録のみを用いる観察研究ため、本研究にあたって費用は発生しません。 研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

	ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位:北里大学病院 栄養部 主任 担 当 者:松下 亜由子(マツシタ アユコ) 電 話:042-778-8107
備 考	